

# 外国語学部 カリキュラム・マップ

■ 英米 : 英米語学科  
■ アジア : アジア言語学科  
■ イベロ : イベロアメリカ言語学科  
■ IC : 国際コミュニケーション学科  
■ : 必修科目  
■ : 選択必修科目  
■ : 自由選択科目  
■ [CP] : 対応するカリキュラム・ポリシーの項目

		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎教育科目		大学での学びをより深化させ効果的に機能させるためのアカデミック・リテラシーに関する基本的な能力を修得する 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」: アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカルリーディング、数的思考、キャリアデザインに関する能力を修得		キャリア形成と学問と社会とを結びつけ、継続的に学ぶ力を涵養する 「キャリアデザインⅠ(基礎)」						
教養科目		人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野 [歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など] 社会科学分野 [社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など] 自然科学分野 [化学・物理学・生物学・自然科学 など]								
外国語科目	選択外国語科目	12程度の言語から1言語を選択し学ぶ 中国語 スペイン語 韓国語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語								
	英語科目	英米 IC アカデミック英語を集中的かつ総合的に学ぶ 「Freshman English」 「Foundational Literacies: Reading & Writing」 「English for Academic Purposes」 「Media English」 「Academic Literacies: Reading/Writing」				英米 「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」ことに焦点を移し、実践的かつ専門的な英語の運用能力を高める 「English for Liberal Arts」 「英語専門講読」				
		アジア イベロ 実践的な英語運用能力、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働力を育成する 「Freshman English」 「Sophomore English」 「アカデミック英語」 「総合英語」 「Media English」				アジア イベロ 実践的な英語運用能力、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働力を育成する 「English for Multicultural Communication」				
		IC コミュニケーションに重点をおいた英語を集中的かつ総合的に学ぶ 「English for International CommunicationⅠ、Ⅱ」 「Reading/Writing」 「Media English」 「Advanced Reading」				IC コミュニケーションを題材としたテーマを英語で学び、実践的かつ専門的な英語の運用能力を高める 「English for International CommunicationⅢ」				
	地域言語科目	アジア イベロ 専攻言語の基礎を徹底的に学び総合的な運用能力を養う アジア: 「中国語基礎/韓国語基礎/インドネシア語基礎/ベトナム語基礎/タイ語基礎」 イベロ: 「スペイン語基礎/ポルトガル語基礎」				アジア イベロ より高度で実践的な専攻言語運用能力を養う スピーチ、プレゼンテーション、通訳・翻訳、討論等を取り入れた実践科目や専攻言語地域のさまざまなテーマを扱うコンテンツベース科目				
研究科目	学・専攻指定研究科目	各年次に配置された「導入」「基礎」「発展」等の「学・専攻指定研究科目」の履修、および2年次前期の研究コースの選択により、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得する 2年次前期の「研究コース」の選択に向け、「導入」「基礎」科目などにより専門領域に関する知識を段階的かつ体系的に修得する 研究コース 英米 英語研究 「自然科学としての言語学入門」「現代英文法」「Introduction to Language and Communication」「英語意味論・語用論」「日本語から英語を見る」など 英語教育研究 「第二言語習得研究」「世界の英語」「Approaches and Strategies in Learning English」「国際共通語としての英語」「応用言語学」「英語授業研究」など 英語圏地域研究 「英文学の歩み」「米国社会論」「History of the United States」「Topics in Canadian Studies」「地域比較文化論」「ダイバーシティ研究」など アジア 中国語専攻 言語研究 「中国語学概論」「中国文化概論」「中国語文法論」「中国語通訳法」「ビジネス中国語」「中国語映像翻訳法」など 地域文化研究 「中国経済概論」など 「中国現代文学研究」「中国政治外交研究」「日中間関係論」「中国文化研究」など 韓国語専攻 言語研究 「韓国語学概論」「日韓対照言語研究」「韓国語社会言語学」「韓国語映像翻訳法」「日韓コミュニケーション研究」など 「日韓関係史」「韓国映像文化論」「韓国近代史」「韓国企業研究」「韓国現代文学研究」「韓国の宗教・社会」など インドネシア、ベトナム、タイ語専攻 言語文化研究 「東南アジア研究入門」「東南アジア言語概論」「インドネシア/ベトナム/タイの文化・芸術/民族・地理」など 地域社会研究 「東南アジア社会論」「インドネシア/ベトナム/タイの歴史/宗教・社会/政治・経済」など イベロ スペイン語専攻 言語文化研究 「スペイン語音声学」「スペイン語の歴史と地理」「スペイン語スピーチ・コミュニケーション」「スペイン語映像翻訳法」など 地域社会研究 「イベロアメリカの法と文化」「現代イベリア研究」「商業スペイン語」「メキシコ研究」「スペイン美術史」など ブラジル・ポルトガル語専攻 言語文化研究 「ブラジルの民族・地理」「ポルトガル語学研究」「西洋古典概論」「ロマンス語学概論」など 地域社会研究 「ポルトガル語圏の世界」など 「ブラジルの宗教・社会」「ブラジルの政治・経済」「現代ラテンアメリカ研究」など IC 国際コミュニケーション専攻 コミュニケーション研究 「ジャーナリズム論」「国際関係論」「多文化社会コミュニケーション」「脳・心とコミュニケーションⅠ」「デジタル・メディアと社会」など 国際・日本研究 「コミュニケーション研究法」など 「国際機構論」「国際協力論」「日本倫理思想史」「日本外交史」など コミュニケーション研究 「企業研究」「経営戦略」「多文化社会コミュニケーション」「脳・心とコミュニケーションⅡ」「デジタル・メディアと社会」など 国際ビジネス専攻 国際ビジネス研究 「国際ビジネス」「国際マーケティング論」「国際ビジネス法」「企業行動論」など								
	研究科目(その他)	学科の枠を超えた横断的かつ専門的な学びを提供する 他学科の学・専攻指定科目、学・専攻に属さない研究科目から選択 児童英語教員養成科目、日本語教員養成科目、通訳・翻訳科目、コミュニケーション系科目、文化・芸術系科目、国際・法律系科目、政治経済・地域社会系科目 など幅広い分野の科目								
	卒業研究	演習科目	[CP4] 学術的な観点から研究成果をまとめる(研究演習) [CP4] 実践的かつ幅広い観点から興味・関心を振り下げ学習成果をまとめる(応用演習) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習または応用演習のいずれかを修得 「研究演習」: 卒業研究(卒業論文・卒業制作)、ゼミ論文・ゼミプロジェクトの完成を目指す 「応用演習」: レポート・報告会でのプレゼンテーション等により成果をまとめる							
		卒業研究	「研究演習」の成果を「卒業研究」としてまとめる							
自由選択科目		キャリア科目、海外実地研修、トライ外国語科目、検定試験の単位認定 など また、各科目群の要件を超えて修得した単位も自由選択科目として卒業要件に充当								

**神田外国語大学 建学の理念**  
「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

**教育目的(育てたい人物像)**  
多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度な言語運用能力を身につけさせるとともに、専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授することにより、豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しようとした人材を養成することを目的とする。

**外国語学部**  
ディプロマ・ポリシー

(1)より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力と、多様な学問領域にわたる幅広い教養

(2)高度な言語運用能力

(3)専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識と理解

(7)異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢

(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力

(5)論理的かつ批判的な思考力

(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力

# ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

英米語学科	
外国語学部 ディプロマ・ポリシー	英米語学科 ディプロマ・ポリシー
(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」 ①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー ②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養
(2)高度な言語運用能力	(2)高度な英語の運用能力 ①幅広い教養及び批判的思考力を身につけた上で、それを英語で総合的（読む・聞く・話す・書く）に運用できる力 ②言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の英語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。 ・卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B2レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同C1レベル相当以上に到達することを目標とする。 ・各技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。
(3)専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識と理解	(3)「言語そのものに対する深い洞察及び英語圏の歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」 ①英語、日本語に関する言語学的な知見を学び、両言語の共通性と多様性を多面的に考察する力 ②英語、日本語に関する言語学的な知見を学び、それを英語学習・英語教育に活用する力 ③英語圏各国の歴史・文化・社会の特質を理解し、国際社会が直面する諸問題を考察し、解決に向けて行動する力
(7)異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢	(4)「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力	(4)「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「学科指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目（その他）」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。
(5)論理的かつ批判的な思考力	(4)「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「学科指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目（その他）」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。
(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力	(4)「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「学科指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目（その他）」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。

## <技能別語学到達目標>

英語		
理解する	読む	・様々な学術分野の専門的な内容を扱うまとまった分量のテキストを読み、理解することができる。 ・新聞を読み、その内容を理解することができる。
	聞く	・様々な学術分野の専門的な内容を扱う講義や口頭発表を理解することができる。 ・ニュース番組やテレビ番組、映画などの様々なジャンルの内容を理解することができる。
話す	やり取り	・ディスカッションでは、専門的な内容について、自分の考えと他者の考えを関連づけつつ、積極的に意見交換をすることができる。 ・社会上、学問上、職業上の目的、及び言語使用場面に応じて、効果的な話し方でやり取りができる。
	発表	・様々な学術分野の専門的な内容について、文献・データ・証拠に基づいて説得力があり筋道だったプレゼンテーションやスピーチができる。
書く		・さまざまな学術分野の専門的な内容について、重要な点を強調しつつ、補助的事項・理由・関連する事例を詳細に加えながら説得力のある議論を展開して結論をまとめ、アカデミック・エッセイやリサーチ・ペーパーを書くことができる。 ・文章を構成する際に必要となる、文法、語彙、論理的つながりを示す表現などを効果的に使用してまとまりのある文章を書くことができる。
	検定等	・TOEFL ITP 550点以上を目指す ・TOEFL iBT 80点以上を目指す ・実用英語技能検定 1級を目指す ・TOEIC®L&R 800点以上を目指す ・CEFR B2-C1レベル相当以上

# ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

アジア言語学科			
外国語学部 ディプロマ・ポリシー	アジア言語学科 ディプロマ・ポリシー	アジア言語学科カリキュラム・ポリシー（教育内容）	科目群
(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」 ①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー ②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」を修得するため、以下のカリキュラムを提供する。1年次から2年次に「基礎教育科目」として「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」「キャリアデザインⅠ（基礎）」を配置する。「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」では大学での学び(特に教養科目、研究科目、演習科目)をより深化させ、効果的に機能させるために「アカデミック・ライティング」「デジタル・シブズンシップ」「クリティカル・リーディング」「教養的思考」及び「キャリアデザイン」に関する能力を修得するための機会を提供する。「キャリアデザインⅠ（基礎）」では過去・現在・未来に繋がる個人のキャリア形成を学問と社会との接統の視点から継続的に学ぶ力(生涯学習力)を涵養するカリキュラムを編成する。また、各年次に「外国語科目(選択外国語科目)」及び「教養科目」を配置し、12程度の言語のほか、人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶカリキュラムを提供する。	基礎教育科目  教養科目
(2)高度な言語運用能力	(2)専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力 ①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力 ②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力 ③各専攻における言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の外国語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。 <中国語、韓国語> 卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B2レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同C1レベル相当に到達することを目標とする。 <インドネシア語、ベトナム語、タイ語> 卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同B2レベル相当に到達することを目標とする。 <英語(全専攻共通)> 卒業までにCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同B2レベル相当以上に到達することを目標とする。  各専攻言語の技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。	(2)-1「専攻言語(中国語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語)の高度な運用能力」を修得するため、各年次に「地域言語科目」を配置する。1年次から2年次では、正確な発音、文法、語彙、会話表現等の専攻言語の基礎を徹底的に学ぶためのトレーニング科目により、総合的な専攻言語の運用能力を養うカリキュラムを提供する。3年次から4年次では、スピーチやプレゼンテーションさらには通訳・翻訳・討論等を取り入れた実践科目や専攻言語地域のさまざまなテーマを扱うコンテンツベース科目により、より高度で実践的な専攻言語運用能力を養うカリキュラムを提供する。  (2)-2「国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力」を修得するため、1年次から2年次では「Freshman English」、「Sophomore English」、「アカデミック英語」、「総合英語」、「Media English」などの科目を通じて、基盤となる英語力を身に付けるカリキュラムを提供する。また、3年次から4年次では、さまざまなテーマについて英語で学ぶ「English for Multicultural Communication」などの科目を通じて、実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働力を育成するカリキュラムを提供する。	地域言語科目  英語科目
(3)専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識と理解	(3)「専攻言語及び専攻言語圏をはじめとするアジアの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」	(3)「専攻言語及び専攻言語圏をはじめとするアジアの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」を修得するため、各年次に「導入」「基礎」「発展」の「専攻指定研究科目」を配置する。同時に「言語研究(中国語専攻、韓国語専攻)／言語文化研究(インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻)」及び「地域文化研究(中国語専攻)／地域社会研究(韓国語専攻、インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻)」に区分された研究コースよりいずれか1コースを選択して指定の研究科目を履修することにより、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得するカリキュラムを提供する。また、専攻内の研究コース、あるいは学科専攻の枠を超えて幅広く学ぶことができるようカリキュラムを編成する。	学科指定研究科目
(7)異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢	①専攻言語が使用される国・地域における歴史、文化、社会、政治、経済の特質を理解するとともに、アジアのダイナミズムに目を向け、広い視野で共生のあり方を考察する力 ②アジアの多様性に対する理解を深め、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	研究科目(その他)
(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「専攻指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目(その他)」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。	演習科目
(5)論理的かつ批判的な思考力	①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力 ②探求心をもち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	卒業研究
(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力	③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力		

<技能別語学到達目標>

中国語専攻

中国語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞・雑誌や文学作品などを読み、大意を理解することができる。</li> <li>・図表や説明文などを読み、必要な情報を得たり、概要や要点を理解することができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な話題のやや複雑なテキストや、抽象的な話題について、主要な内容を聞き取り、理解することができる。</li> <li>・映画やテレビドラマの内容を聞き取り、おおよそ理解することができる。</li> </ul>
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が想定していない状況においても、相手の協力を得られれば、ある程度創造的なやり取りができる。</li> </ul>
	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身の回りのことや関心のあることについて、事前に準備をすればスムーズにプレゼンテーションやスピーチができる。</li> </ul>
書く		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身の回りのことや関心のあることについて、ある程度まとまった文章を書くことができる。</li> <li>・さまざまな事象について多面的、かつより正確で適切に書くことができる。</li> </ul>
検定等		HSK筆記5級・口頭試験高級を目指す CEFR B2-C1レベル相当

韓国語専攻

韓国語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事など漢字語の多いテキストを自由に読み、理解することができる。</li> <li>・辞書を用いることで、小説など、表現の複雑な文学的文章を読み、理解することができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースや演説などの時事的で、社会的に高度な話題をおおよそ理解することができる。</li> <li>・映画やテレビドラマにおける、多彩で口語的な表現を聞き取り、おおよそ理解することができる。</li> </ul>
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の場面に応じた適切な文体を用いて、公式的で抽象的な話題から、私的で日常的な話題についてのやり取りができる。</li> </ul>
	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的もしくは学術的な場面において、高度な内容のプレゼンテーションやスピーチができる。</li> </ul>
書く		<ul style="list-style-type: none"> <li>・書きことばにみられるフォーマルな文章や、メッセージ性を持った硬い文章を書くことができる。</li> <li>・話しことばにみられるインフォーマルな文章や、メールやSNSなど形式に則らない文章まで自由に書くことができる。</li> </ul>
検定等		「ハングル」能力検定試験2級、韓国語能力試験(TOPIK)5～6級を目指す CEFR B2-C1レベル相当

インドネシア語専攻

インドネシア語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度高度な内容の原文の読み物を、辞書なしで読むことができる。</li> <li>・自分に必要な文献や資料などを探し出し、それらの内容の比較ができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インドネシアで放送されているテレビなどの内容をおおよそ理解できる。</li> <li>・会議や会話の中で相手(話し手)の意図を正確に理解して対応できる。</li> </ul>
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業外の環境でも自分の意思を正確に伝えられ、相手の話す内容についても理解し、反応できる。</li> </ul>
	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションや会議の場で、自分の意見を順序立てて正確な発音と文法で伝えられる。</li> </ul>
書く		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式文書(高度な文章)を書くことができる。</li> <li>・求められる内容や状況に応じて使い分けことが出来る。</li> </ul>
検定等		インドネシア語技能検定試験B級以上を目指す CEFR B1-B2レベル相当

ベトナム語専攻

ベトナム語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な論説、記事を読むことができる。</li> <li>・辞書を引きながら、詩やエッセーなど文学作品を味わうことができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースを聞き、ある程度理解できる。映画の内容をおおよそ理解することができる。</li> <li>・大学の講義の内容を聞き取ることができ、理解することができる。</li> </ul>
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の意見や意思を、自然体で話すことができる。</li> <li>・日常生活を離れたテーマについても高度な会話表現ができる。</li> </ul>
	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あるテーマについて筋道の立った発表・プレゼンテーションを行うことができる。</li> </ul>
書く		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容豊かで高度な文章表現ができる。</li> <li>・テーマに沿った短い論説(1,000字程度)を書くことができる。</li> </ul>
検定等		iVPT(国際ベトナム語能力試験)B2以上を目指す CEFR B1-B2レベル相当

タイ語専攻

タイ語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公文書を含む書類や一般の書籍・新聞などを読んで内容を適切に理解することができる。</li> <li>・さまざまな文献から情報収集し、自分なりに分析できる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の意図を正確に解釈し、誤解なく意思疎通できる。</li> <li>・会議など公式的な場で、発表や話し合いの内容を無理なく聞き取れる。</li> </ul>
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や相手との関係性などを考慮し、発話状況に即した話し方ができる。</li> </ul>
	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明瞭な発音で、誤解を与えない話し方ができる。</li> <li>・面接や会議などの公式的な場で、論理的に発言できる。</li> </ul>
書く		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公文書を含む書類や日常生活に必要な書類の文面をそれぞれの用途に応じて正確に書くことができる。</li> <li>・相手のことを配慮した書き方ができる。</li> </ul>
検定等		チュラロンコン大学シリントン・タイ語研究所のタイ語能力試験(CUTFL)C1を目指す CEFR B1-B2レベル相当

# ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

イペロアメリカ言語学科			
外国語学部 ディプロマ・ポリシー	イペロアメリカ言語学科 ディプロマ・ポリシー	イペロアメリカ言語学科カリキュラム・ポリシー（教育内容）	科目群
(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」	①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー ②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」  1年次から2年次に「基盤教育科目」として「基礎演習I、II」「キャリアデザインI（基礎）」を配置する。「基礎演習I、II」では大学での学び(特に教養科目、研究科目、演習科目)をより深化させ、効果的に機能させるために「アカデミック・ライティング」「デジタル・シチズンシップ」「クリティカル・リーディング」「数的思考」及び「キャリアデザイン」に関する能力を修得するための機会を提供する。「キャリアデザインI（基礎）」では過去・現在・未来に繋がる個人のキャリア形成を学問と社会との接続の視点から継続的に学ぶ力(生涯学習力)を涵養するカリキュラムを編成する。また、各年次に「外国語科目(選択外国語科目)」及び「教養科目」を配置し、12程度の言語のほか、人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶカリキュラムを提供する。	基盤教育科目
			②「専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力」  ①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力 ②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力 ③言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の外国語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。 <スペイン語、ブラジル・ポルトガル語> 卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同B2レベル相当に到達することを目標とする。 <英語(全専攻共通)> 卒業までにCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同B2レベル相当以上に到達することを目標とする。  各技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。
(2)高度な言語運用能力		(2)-1「専攻言語(スペイン語、ブラジル・ポルトガル語)の高度な運用能力」を修得するため、各年次に「地域言語科目」を配置する。1年次から2年次では、専攻言語の基礎を徹底的に学ぶためのトレーニング科目により、総合的な専攻語の運用能力を養うカリキュラムを提供する。3年次から4年次では、通訳・翻訳・討論・スピーチ等を取り入れた実践科目や国内外のさまざまなテーマを扱うコンテンツベース科目により、より高度で実践的かつ専門的な言語の運用能力を養うカリキュラムを提供する。  (2)-2「国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力」を修得するため、1年次から2年次では「Freshman English」、「Sophomore English」、「アカデミック英語」、「Media English」などの科目を通じて、基盤となる英語力を身につけるカリキュラムを提供する。また、3年次から4年次では、さまざまなテーマについて英語で学ぶ「English for Multicultural Communication」などの科目を通じて、実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働力を育成するカリキュラムを提供する。	地域言語科目
(3)専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識と理解	(3)「専攻語及び専攻語圏をはじめとするイペロアメリカの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」	(3)「専攻語及び専攻語圏をはじめとするイペロアメリカの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」を修得するため、各年次に「導入」「基礎」「発展」の「専攻指定研究科目」を配置する。同時に「言語文化研究」及び「地域社会研究」に区分された研究コースよりいずれか1コースを選択して指定の研究科目を履修することにより、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得するカリキュラムを提供する。また、専攻内の研究コース、あるいは学科専攻の枠を超えて幅広く学ぶことができるようカリキュラムを編成する。	英語科目
(7)異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢	①専攻言語が話される国・地域の歴史、文化、社会、政治、経済の特質を学ぶとともに、その多様性を尊重し、広い視野で共生のあり方を考察する力 ②世界におけるイペロアメリカのあり方や役割を理解し、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力		学科指定研究科目
(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」と、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「専攻指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目(その他)」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。	研究科目(その他)
(5)論理的かつ批判的な思考力	①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力 ②探求心をもち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力 ③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力		演習科目
(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力			卒業研究

## <技能別語学到達目標>

### スペイン語専攻

スペイン語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペイン語の新聞、エッセー、メール、ビジネス文書などを読み、理解することができる。</li> <li>・専門的なテーマも含め、抽象的ないし具体的な内容からなる複雑な文の趣旨を理解することができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ、ラジオのニュースや番組内の会話を理解することができる。</li> <li>・日常的な事柄から大学の講義等の専門的な内容まで、地域的なバリエーションを含め、発話を理解することができる。</li> </ul>
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時事問題や相手の関心事項に合わせた会話や討論ができる。</li> <li>・ディスカッションでは、多様な意見を尊重しつつ、積極的に意見交換をすることができる。</li> </ul>
	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国を含めた世界の社会・文化について論理的なプレゼンテーションやスピーチができる。</li> <li>・社会的、学問的、職業上の目的及び言語使用場面に応じた発言ができる。</li> </ul>
書く		<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文を書いたり、報告書や企画書を作成できるようになる。</li> <li>・個人的に関心のある話題や社会的・文化的な事柄について、反対意見や少数意見の長所と短所を示しつつ、論理的な文章を書くことができる。</li> </ul>
検定等		DELE B1以上、スペイン語技能検定3級以上を目指す CEFR B1-B2レベル相当

### ブラジル・ポルトガル語専攻

ポルトガル語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポルトガル語の新聞、エッセー、メール、ビジネス文書などを読み、理解することができる。</li> <li>・専門的なテーマも含め、抽象的ないし具体的な内容からなる複雑な文の趣旨を理解することができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ、ラジオのニュースや番組内の会話を理解することができる。</li> <li>・日常的な事柄から大学の講義等の専門的な内容まで、地域的なバリエーションを含め、発話を理解することができる。</li> </ul>
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時事問題や相手の関心事項に合わせた会話や討論ができる。</li> <li>・ディスカッションでは、多様な意見を尊重しつつ、積極的に意見交換をすることができる。</li> </ul>
	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国を含めた世界の社会・文化について論理的なプレゼンテーションやスピーチができる。</li> <li>・社会的、学問的、職業上の目的及び言語使用場面に応じた発言ができる。</li> </ul>
書く		<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文を書いたり、報告書や企画書を作成できるようになる。</li> <li>・個人的に関心のある話題や社会的・文化的な事柄について、反対意見や少数意見の長所と短所を示しつつ、論理的な文章を書くことができる。</li> </ul>
検定等		ブラジル教育省「外国人のためのポルトガル語検定試験」〈中級〉以上を目指す CEFER B1-B2レベル相当

# ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

国際コミュニケーション学科			
外国語学部 ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学科 ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学科 カリキュラム・ポリシー (教育内容)	科目群
(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」 ①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー ②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」を修得するため、以下のカリキュラムを提供する。 1年次から2年次に「基礎教育科目」として「基礎演習I、II」「キャリアデザインI(基礎)」を配置する。「基礎演習I、II」では大学での学び(特に教養科目、研究科目、演習科目)をより深化させ、効果的に機能させるために「アカデミック・ライティング」「デジタル・シナジズシップ」「クリティカル・リーディング」「教養的思考」及び「キャリアデザイン」に関する能力を修得するための機会を提供する。 「キャリアデザインI(基礎)」では過去・現在・未来に繋がる個人のキャリア形成を学問と社会との接続の視点から継続的に学ぶ力(生涯学習力)を涵養するカリキュラムを編成する。また、各年次に「外国語科目(選択外国語科目)」及び「教養科目」を配置し、12程度の言語のほか、人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶカリキュラムを提供する。	基礎教育科目
			教養科目
(2)高度な言語運用能力	(2)高度な英語の運用能力 ①英語の4技能をバランス良く修得することで、相手の伝えたいことを理解し、自分の考えを伝える力 ②英語を使って文化的背景の異なる人々と意思の疎通ができる力 ③言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の英語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。 ・卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B2レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同C1レベル相当に到達することを目標とする。各技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。 ※留学生は英語に加えて日本語の4技能をバランス良く修得することで、相手の伝えたいことを理解し、自分の考えを伝える力を備えていること。	2)「高度な英語の運用能力」を修得するため、各年次に適切なレベルの「英語科目」を配置し、1年次から2年次では「English for International Communication I、II」「Reading/Writing」「Media English」「Advanced Reading」などにより、コミュニケーションに重点をおいた英語を集中的かつ総合的に学ぶカリキュラムを提供する。さらに、3年次から4年次では、「English for International Communication III」などにより、コミュニケーションを題材としたさまざまなテーマを英語で学ぶ、実践的かつ専門的な英語の運用能力を高めるカリキュラムを提供する。 ※外国人留学生には、入学時の語学力に応じたレベルの英語科目及び、日本語総合講座などの日本語科目を提供する。	選択外国語科目
			英語科目
(3)専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識と理解	(3)「多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力及グローバル社会の一員として世界に貢献するための教養と問題解決力」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」 ①国際関係、国際社会に関する知識や日本の歴史、文化、社会に関する知識を踏まえ、他者と自らの価値を理解し、国際社会の発展に貢献する力 ②幅広い教養を身につけ、様々なメディアを駆使し、国際社会における喫緊の話題に関して自らの考えをもって積極的に対話に参加し、問題解決に貢献する力	(3)「多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力及グローバル社会の一員として世界に貢献するための教養と問題解決力」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」を修得するため、各年次に「導入」「基礎」「発展」の「専攻指定研究科目」を配置する。同時に、「コミュニケーション研究(国際コミュニケーション専攻・国際ビジネスキャリア専攻)」、「国際・日本研究(国際コミュニケーション専攻)」及び「国際ビジネス研究(国際ビジネスキャリア専攻)」コースよりいずれか1コースを選択して指定の研究科目を履修することにより、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得するカリキュラムを提供する。また、専攻内の研究コース、あるいは学科専攻の枠を超えて幅広く学ぶことができるようカリキュラムを編成する。	学科指定研究科目
(7)異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢	(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力	(4)「グローバル社会において学修者自身及び他者のキャリア形成を構築し寄与する力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	研究科目(その他)
(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力			
(5)論理的かつ批判的な思考力	(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力	①国際理解の素養のもと、基本的ビジネスコミュニケーションが日英両語で運用できる力 ②相互理解の姿勢のもと、互恵の視座で課題解決に貢献する力 ③日々新たな情報を自らとらえ、行動と結びつけられる力	演習科目
(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力			卒業研究

## <技能別語学到達目標>

英語	
理解する	読む ・学術的なテキストや講義資料を読み、正確に理解することができる。 ・政治・経済・社会・文化・スポーツなど様々な分野の文章を読み、理解することができる。(国際コミュニケーション専攻) ・ビジネスを扱った文献及び時事をすすんで読み、理解することができる。(国際ビジネスキャリア専攻)
	聞く ・抽象的で複雑な話題について、複数の情報を整理して、概要や要点を理解することができる。 ・政治・経済・社会・文化・スポーツなど日常的话题について、話し手の意図を理解することができる。(国際コミュニケーション専攻) ・体験就業などキャリア形成の場で所属長や顧客の意図を理解することができる。(国際ビジネスキャリア専攻)
話す	やり取り ・社会的な話題について、相手の意見を尊重しながら論理的にやり取りをすることができる。 ・日常的话题について、情報や考え、気持ちを積極的に相手と伝え合うことができる。
	発表 ・社会的な話題について、目的に応じて伝達・指導・説得する発表を論理的に展開することができる。 ・日常的话题について、情報や考え、気持ちなどを明確・正確・簡潔に聞き手に伝えることができる。
書く	・大学の講義において、必要に応じて要点を明確・正確・簡潔に書いてまとめることができる。 ・抽象的で複雑な題目について、論理的な文章を書くことができる。
検定	TOEIC®L&Rテスト 800点以上を目指す CEFR B2-C1レベル相当